

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 東山の里

## 目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 09 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	非常災害時における地域住民の協力は、必要不可欠であるので、地域住民とホームとの交流の輪を広げ、信頼関係を作り、非常時の相互協力関係を確立し、非常災害用備品の用意をしていく。	地域における介護相談等の窓口として、気軽にホームに立ち寄れる環境を整備し、信頼関係を構築していく。また、非常災害に備え、非常食、飲料水、毛布等の備蓄を用意していく。	12ヶ月
2		日常的な外出支援	利用者の車椅子利用が増え、重度化が加速する中で、利用者が少しでも自然に触れるための外出の支援を、職員の頑張りで実施していく。	車椅子での外出を容易にするために、ボランティアを募り、して欲しいこと、してはいけないこと、守秘義務等を徹底し、買い物や散歩等、支援出来る体制を確立していく。	12ヶ月
3		地域密着型グループホームとして、地域貢献を目指す	地域住民の高齢化に伴い、ホームとして、何が貢献できるかを検討し、地域の核として、高齢化社会の相談窓口を設け活動していく。	認知症の啓発活動を通して、介護サービスの在り方を関係者で検討し、介護相談窓口を設け、なんでも相談できる体制をつくり、地域住民から、信頼されるグループホーム 東山の里を目指していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。